








## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について ～SDGs の目標達成に向けた当社の事業活動を第三者が評価～

株式会社野末商店（社長野末洋介）は、株式会社静岡銀行（頭取 柴田 久）との間で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」の契約を締結しましたので、お知らせします。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資。企業による SDGs 達成への貢献度合いを評価指標とし、その過程を情報開示する。

- 当社は、『国内循環宣言』のもと、鉱物資源が乏しい日本において金属スクラップを貴重な資源とみなし、国内金属資源の循環に貢献しています。
- 当社の取り組みは、国連環境計画金融イニシアティブが提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが提唱した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に基づき、一般財団法人静岡経済研究所が(株)日本格付研究所の協力を得て評価しています。
- SDGs の目標達成に資するインパクトについて、以下の通り KPI を設定しています（詳細は「評価書」をご参照ください）。これらの取り組みの進捗・成果は、当社ホームページにて開示します。

特定されたインパクト	KPI（指標と目標）	関連する SDGs
<社会面> 雇用 健康と衛生 移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 3 回のフィードバック面接と年 1 回の社長面談の実施を継続する</li> <li>・最新の粉塵機を導入するなどして、各粉砕機周辺の粉塵濃度を通減させるよう努める</li> <li>・安全運転講習会を年 3 回開催し、安全運転意識の向上に努める</li> <li>・交通事故発生件数を 0 件に留める</li> </ul>	 
<経済面> 高い経済生産性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルマップシートを活用し、従業員の技術を年 2 回確認することで技術向上に努める</li> <li>・グループ間監査体制を継続し、高い経済生産性を維持する</li> <li>・ISO9001 と ISO14001 認証を更新し、国際規格に沿った品質・環境マネジメントシステムの維持に努める</li> </ul>	
<環境面> 資源効率・ 資源安全確保 廃棄物 水 気候変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質会議を毎月 1 回開催して、高い品質の維持に努める</li> <li>・2030 年までに、リグループタイヤを使用した大型車両の割合を 2020 年の 50%から 25pt 増加させ、75%を達成する</li> <li>・2025 年までに、金属含有複合物の処理能力を 2020 年の 600 t/月から 200 t/月増加させ、800 t/月を達成する</li> <li>・油水分離層の清掃を毎月 1 回実施する</li> <li>・太陽光発電システムを設置し、年間 10 万 kWh 発電する</li> <li>・2030 年までに、営業車両用のハイブリッドカーの台数を 2020 年の 4 台から 3 台増加させ、7 台を達成する</li> <li>・2030 年までに、電動フォークリフトの台数を 2020 年の 1 台から 2 台増加させ、3 台を達成する</li> </ul>	   

- 当社は本件の締結後も、同様の志を持つ同業他社様との連携・協力を通じ、更なる SDGs の達成に取り組んでまいります。

以上